

## 取組概要

蒲江翔南学園では、「ふるさとを愛し、夢を持って未来を切り拓いていく力を身に付けた児童・生徒の育成」を目指し、9年間を見通した学習指導・小中相互理解による指導体制を確立し、児童生徒・家庭・地域・学校がその教育効果を実感できるよう、取組を推進している。

## 工夫・ポイント

### 【学校マネジメントの工夫】

- ◆ユニット制（前期1年生～4年生、中期5年生～7年生、後期8年生～9年生）ごとに主任を配置し、取組指標に基づく取組状況の把握を行うとともに、主任間での情報共有を実施している。
- ◆ユニット制の推進と実働に向け、例えば小学部の教員が中学部の授業を行うなどしながら、全教職員で全児童生徒の学びと育ちに関わる仕組みを構築しようとしている。

## 特徴的な活動

- ◆ユニットごとの教職員組織を編成し、職員室内の机をユニットごとに配置して組織の重層化・情報共有の日常化を進めている。
- ◆小中一貫校としての目指す学校の姿や現状・課題を明確にし、具体的な取組案を定めるとともに、家庭・地域・児童生徒への丁寧な説明を行いながら、ユニット内・ユニット間・全校間の異学年交流を進めようとしている。

## 関係者の声

- ◆小中一貫教育の実働に資する達成指標について、カリキュラム・マネジメントの取組やキャリア教育の取組等を連動させることも考えられる。
- ◆達成指標や取組指標について、例えばユニットごとの指標を定めて取組を進め、主任間による検証・改善サイクルを確立していくことも考えられる。

### 振り返りをICTで入力・蓄積



### 実験の手順をICTで確認→実験→記録



### 教具の工夫



### ノート指導の工夫（視覚的な支援）

